

「省エネ市民会議」

会議年月日 24 年 12 月 14 日 時間 13:30 ~ 16:00 場所 流山市生涯学習センター(1F)

出席者 田中、日比野、馬渡、高橋、突田、三須、下田、新美、木村、平手、新田、春田(記)
(ホワイトボードに向かって時計回り順に記載、敬称略)

議 題

12月度の省エネ市民会議を開催した。

今回から「25年度 京和ガス エコ・アクションサポート」補助金事業として開催する。

1、「気候変化レポート2012」の解説(講師:田中和孝氏 元:気象庁・静岡地方気象台防災業務課長)

資料(http://www.jma-net.go.jp/tokyo/sub_index/kikouhenka/index.html)



気候変化レポート 2012の解説

気候変化レポート 2012 —関東甲信・北陸・東海地方—

平成24年12月14日

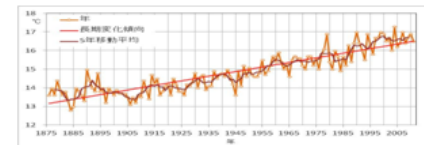
野田エコライフ推進の会
田中和孝



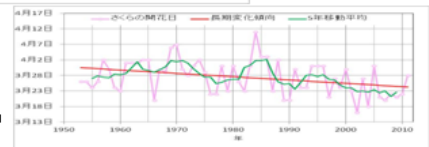
平成24年3月
東京管区気象台
気象庁地球環境・海洋部
神奈川気象台
舞鶴海洋気象台

はじめに

- 東京管区気象台、気象庁地球環境・海洋部、神戸海洋気象台および舞鶴海洋気象台は、これまでの気候変化や海面水温、海面水位の長期変化を「気候変化レポート 2012」としてまとめた。
- 気温や降水量をはじめ、生活感覚に結びついている暑さ(真夏日の日数)や寒さ(冬日の日数)、サクラの開花日などの長期変化をグラフにした。
- 地球温暖化問題を身近に考える一助になれば幸いです。



東京(千代田区大手町)の年平均気温の経年変化



東京のさくらの開花日(半年:3月26日)

関東甲信・北陸・東海地方における気温の長期変化

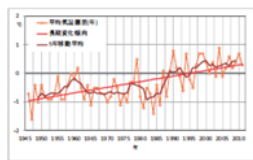


図 3.1.1 関東甲信地方の年平均気温偏差の経年変化

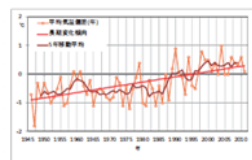


図 3.1.2 北陸地方の年平均気温偏差の経年変化

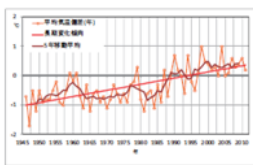


図 3.1.3 東海地方の年平均気温偏差の経年変化

関東甲信(左上)
長期的に有意な上昇傾向が見られる。
平均気温偏差 年: 0.99℃/50年

北陸(上)
長期的に有意な上昇傾向が見られる。
平均気温偏差 年: 0.92℃/50年

東海(左)
長期的に有意な上昇傾向が見られる。
平均気温偏差 年: 1.03℃/50年

偏差の基準値は、1981~2010年の平均値=平年値である。

関東甲信・北陸・東海地方における降水量の長期変化

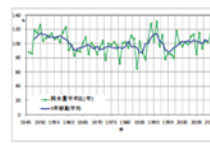


図 3.1.4 関東甲信地方の年降水量の経年変化

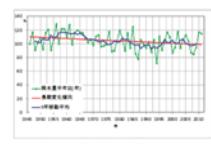


図 3.1.5 北陸地方の年降水量の経年変化

年降水量には変化傾向は見られない。
秋と冬における年ごとの変動が大きい。

年降水量は長期的に有意な現象は見られる。
冬に長期的に有意な減少傾向が見られる。
理由は、降雪量の減少傾向である。1980年代半ば以降急激に減少している。

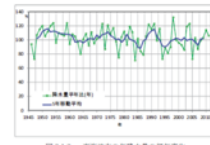


図 3.1.6 東海地方の年降水量の経年変化



図 3.1.7 北陸地方の降雪量の経年変化

偏差の基準値は、1981~2010年の平均値=平年値である。

<次回予定> ・日時=2013年1月11日(金)13:30~15:30

・場所=流山市生涯学習センター(3F)大会議室 ・内容=未定(募集中)